

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・5年生において、自分の考えやそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書く設問が目標値を上回った。書く目的や相手を明確にして、自分の考えを明確にしながら書かせたり、「なぜなら」「その理由は」といった表現を効果的に用いながら理由を書かせたりする指導の積み重ねが成果として現れている。

(2) 課題

- ・自分の考えを明確にして文章を書くことができるようにするために、学習過程を工夫し、段階的に丁寧な指導を継続する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値を3.6ポイント下回った。		
第5学年	目標値を3.8ポイント下回った。 達成率は昨年度より5.6ポイント下回った。	令和6年度の4年生の目標値を1.8ポイント下回った。	
第6学年	目標値を10.1ポイント下回った。達成率は昨年度より6.3ポイント下回った。	令和6年度の5年生の目標値を2.6ポイント上回った。 達成率は令和5年度より7.6ポイント下回った。	令和5年度の4年生の目標値を5.5ポイント下回った。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
4年生は、目標値に比べ7.8ポイント下回った。主語と述語の関係を問う問題についての正答率が特に低い。	4年生は、目標値に比べ0.8ポイント下回った。相手や目的を意識して、自分の考えを明確にして文章を書く問題についての正答率が特に低い。	漢字等の知識・技能を習得するために繰り返し取り組んだり、自分の考えを表すために今までの学習を活かしたりしながら粘り強く取り組むことができる児童が少ない。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
5年生は、目標値に比べ5.8ポイント下回った。6年生は、目標値に比べ12.3ポイント下回った。漢字を正しく書く問題や、文法や敬語に関する問題についての正答率が低い。	5年生は、目標値に比べ0.5ポイント上回った。6年生は、目標値に比べ8.5ポイント下回った。目的に応じて文章を書く問題についての正答率が低い。	自分の考えを明確にしながら最後まで文章を書いたり、書いた文章をよりよいものにしようと粘り強く取り組んだりすることができる児童が少ない。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>文章を書く際には、書きたいことをメモしてから書く習慣を身に付けさせ、書きたいことを明確にするとともに「はじめ・中・おわり」のようにまとまりに分けて書けるようにする。</p> <p>主語と述語の関係に気を付けて文章を書くことができるようにする。また、自分の書いた文章が、主語と述語の関係が照応しているかを読み返す習慣を付けさせる。</p>	<p>児童同士が互いに書いたものを読み合う活動を意図的に設定し、よいところを見付け、感想を伝え合うことができるようにする。</p> <p>経験した出来事について、内容や時間のまとまりを順序立てて書き表すことができるように、ワークシートを活用して段階的に指導する。</p> <p>日常生活や体験的な学習活動の中で感じたことを、言葉や歌、絵、動作などを用いて表現する時間を設定する。</p>	<p>身近な出来事や、日常生活と関連した題材を取りあげて学習課題を設定することで、意欲的に学習に取り組めるようにする。</p>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>主語と述語の関係を関わらせながら修飾語の働きや適切な使い方を理解することで、場面の様子や自分の考えなどをより明確に書き表すことができるようにする。</p> <p>国語辞典や学習用端末を手元に置いてすぐ活用できるようにし、語彙力を増やすことで、自分の気持ちや感じ方を具体的に書く力を高める。</p>	<p>書く活動では、書く目的や書く相手を明確にし、書くことの必要性や意義をもたせた指導を行う。</p> <p>自分の考えと、考えを支える理由や事例を明確に記述できるよう、「なぜなら」「その理由は」などの表現を効果的に用いることができるように指導する。</p> <p>書いたものを発表し合う活動では、自分の考えや書き表し方との相違点や共通点を意識させるようにし、自分の考えを深めたり再構築したりすることができるようにする。</p>	<p>児童にとって興味・関心のある題材や身近にある共通の題材を課題として設定する。</p> <p>児童が書いた文章について、どこがよかったのか、どのように書けばよりよくなるのかを具体的に指導し、児童が最後まで粘り強く取り組めるようにする。</p>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>文法についての知識が定着するよう、文章を読んだり書いたりする学習においても意図的・継続的に取り上げ、理解が深まるようにする。</p> <p>敬語についての知識が定着するよう、敬語を使う必要がある場面を具体的に想定し、丁寧語、尊敬語、謙譲語を区別しながら適切に使分けられるようにする。また、普段の生活場面でも意識的に敬語を使わせるようにする。</p>	<p>テーマや課題に応じて、文章全体の構成を考えながら、自分の考えを明確にして文章を書く活動に重点的に取り組む。</p> <p>自分の考えを明確にもたせるために、筆者の主張や説明の仕方について自分の立場を明確にさせ、なぜそのように考えたのかを事前に記述させるなど、学習過程を工夫して段階的に丁寧に指導する。</p> <p>また、タブレットを活用して書いたものを共有し、学び合いができる時間を計画的に設定する。</p>	<p>考えを広げたり深めたりしながら学習することができるように、目的や意図に合わせた様々な題材に取り組む。</p> <p>学習の見直しをもたせ、課題意識をもって主体的に学習が進められるようにする。</p> <p>学習の振り返りの時間を計画的に設定し、単元を通して学んだことを実感できるようにする。</p>